



「今日の一步が光を招く 確かな一步が未来に続く」

学校だより

令和3年9月1日
東京都立羽村特別支援学校
校長 田口 克己

【2学期スタート時の再確認】改めて今一度、社会情勢の現実に対し、引き続き児童・生徒を守りつつ、教職員及びその家族の健康も守りながら、安心して教育活動ができるように、焦らず工夫をこらして、計画的に「新しい日常」の定着に尽力します。

★新学期スタート時のアプローチ★ 「焦らない」・「せかさない」・「小さな成果を褒める」

★PCR検査を受ける前に必ず学校に連絡してください。

児童・生徒等及び教職員等に感染者が判明した場合は、保健所の判断・助言に基づく感染者の行動範囲の消毒及び校内の濃厚接触者の特定がなされるまで、原則として学級・学年・学部などを臨時休業とする等の措置が必要となる場合があります。

◇児童・生徒への指導

○健康観察票 → 可能な限り速やかに提出・確認します。

★新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いている都内の状況から、都教育委員会が9月末までを『対策強化期間』に位置付けていることを踏まえ、引継ぎ方法を強化することといたしました。【対象】お子さんが放課後等デイサービス事業者を利用している御家庭

【引継ぎ方法】「健康観察カード」にチェック欄追加 → 放課後等デイサービス事業所もチェック

○「3つの密」を徹底して回避 → おおむね1～2mの距離を確保し、対面とならないようにします。

○感染リスクが高まるタイミングで、石けんを使用して手洗い → (混雑時には立ち位置のマーキングをします)

○使用済みティッシュなどのごみの分別 → (ポリ袋をかぶせ、8分目までとします)

○感染者、濃厚接触者に対する偏見や差別の防止 → 児童・生徒の実態に合わせて指導します。



◇熱中症予防を踏まえたマスクの着用

○学校生活場面では、マスクの着用を基本 → 「不織布マスク」が推奨されています。(都より5000枚支給)

○汗をかいたり息苦しくなったりした場合や、湿度や温度が高い場所で活動する場合は、密集しない場所に移動するなどした上でマスクを外すよう、児童・生徒に指導をします。

○マスクの着脱を自身で判断することが困難な児童・生徒に対しては、必要な際はマスクを外すことを指示します。

・登下校時など屋外で一定の距離が確保できる場合には、マスクを外すことができるように実態に合わせた指導をします。

・外したマスクは、持参した袋にしまうなど、マスクの管理も含めて指導します。

◇校内環境の適切な管理

○登校時 → サーモグラフィ画像による発熱状況の検知。○各教室 → サーキュレーターへの配備。○各教室 → CO2測定器への配備。

・校舎内 → 各教室や主要な場所に手指消毒液を設置。(誤飲・アルコールアレルギーに注意)

○教室 → ドア・窓の常時開放、困難な場合には30分に1回以上の換気、エアコン使用時にも換気。

○特に手を触れる場所 → 1日1回以上の消毒 → 「清掃チェックリスト」への記録(昼と下校後に実施)

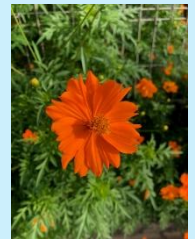
○教室等の密集の回避 → 学年・学習グループ単位までの学習集団で実施。

○体育は可能な限り屋外実施 → (体育館等では十分な換気、密集せずに距離をとれる運動、更衣室の換気、用具の消毒)

○給食 → 会話は控える。配膳時の衛生管理、着用していたマスクを適切に保管(個人持参の給食袋)

○予防上、出席しなかった場合 → 「出席停止」(欠席にはなりません)【ご家庭のニーズに応じて学習課題等の相談・対応】

○感染症が疑われるケースの発生時における校内の連絡協力体制 → (別室対応とし、対応する教職員を限定、速やかに下校)



「子供輝く@TOKYO」の実施について

東京都教育委員会は、このたび、予防・開発的な健全育成の取組として、都内全ての公立学校を対象とした「子供輝く@TOKYO」を実施することにいたしました。コロナ禍の今だからこそ、教職員や周囲の大人が、児童・生徒の可能性の伸長に向けて丁寧に寄り添う取組を推進するとともに、児童・生徒がポストコロナを見据え、夢や希望をもてるようにする教育活動等を通じて、児童・生徒自身が、様々な困難の中で生きるありのままの自分を認め、更なる成長を目指して自ら人生を切り拓いていこうとする教育を実現することが重要であるからです。

◆具体的な取組 → 都内全ての公立学校で実施する取組「エール・ウィーク」の実施

○ねらい：児童・生徒理解の深化を図る。児童・生徒が、様々な困難の中で生きるありのままの自分を認めるとともに、自らのよさや可能性に気づき、自己肯定感を高めることができるようにする。

○実施内容：教職員が、児童・生徒一人一人のよさや努力、成長を見付けて共有する。見付けたよさ等を児童・生徒に直接伝えるとともに、学校便り等で保護者や地域に発信する。

○実施期間：〈次の期間を目安として、各学校が適宜1週間から2週間程度設定する〉1期 令和3年8月から9月まで、2期 令和4年1月

★本校での取組としては、令和3年度学校経営計画にお示ししたとおり、「大切にしたい3つの基本」→【人権・学び・態度】の羽村の充実に努め、「大切にしたい3つのキーワード」→『ここちよさ』『たしかさ』『わかりやすさ』を年間を通して実践してまいります。

ただいま開催中のパラリンピックで「感じたこと・学んだこと」を友達とたくさん話しましょう

例えばですが「用具の進化」がスゴイ。

- ・競技用車いす「レーサー」
- ・踏み切りの場所や投げる方向を伝えるのが「コーラー」
- ・一緒に走ってコースを誘導する「ガイドランナー」
- ・競泳種目でのターンに欠かせない「タッパー」



選手が安心して競技できるように、信頼できる人達や工夫された道具に着目しても面白いです。特別な支援が大会を盛り上げています。